

<先週の説教から>

『詩編 55⑩ — あなたの重荷を主にゆだねよ！』

武田 真治 牧師

詩編55：18～24 マタイ福音書 11：28～30

今日の詩編には、ぜひ覚えておきたい聖句があります。それは「あなたの重荷を主にゆだねよ。主はあなたを支えてくださる。主は従う者を支え、とこしえに動搖しないように計らってくださる」です。苦しみにあるとき、困難な状況にあるとき、どうしても自分で何とかしなければ、早く解決しなければと焦ることの多い私たちに対して、このみ言葉は私たちにとって大切な”信仰”を覚えさせてくれるのではないでしょうか？自分にとって本当にこのみ言葉が必要な時に、ちゃんと思い出せるように、心に、記憶に留めたい！

この詩編の祈り人も差し迫った状況に追い込まれています。それが「わたしは悩みの中にあってうろたえています。敵が声をあげ、神に逆らう者が迫ります。彼らはわたしに災いを降りかからせようとして、憤って襲いかかります」です。しかも、その「敵」とは「わたしの友、知り合った仲。親しく交わり、神殿の群衆の中を共に行き来したものだった」とありますように、かつての友人であり仲間でした。そのような相手が敵に回ったのでした。厳しい裏切りであったとも言い得るでしょう。これは、具体的にはこの祈り人が訴えられている（＝裁判）を起こされていたのではないかと考えられています。よく知る仲間、友人から訴えられるのはどんなにか辛いことでしょうか、それは「死に襲われるがよい」と相手の死を願うほどに精神的に追い込まれる程でした。

ただ、そこでこの詩編の祈り人は”立ち止まる”のです。そして「わたしは主を呼ぶ。主はわたしを救ってくださる」と祈り始めるのです。この節の最初は（アニー＝私は）から始まっています。普通はヘブライ語の場合、動詞の中にその主語は含まれるのですが、その主語を特に強調したい時にはこのように飛び出した形で用いられます。次に（エル エロ ヒーム＝神様に向って）という言葉が続き、そして（エカラーラー＝私は叫ぶ・訴える）と述べられています。

『新共同訳』で「呼ぶ」と訳されている言葉がこの（カラー）で「呼ばわる、叫ぶ、訴える」という意味を持ちます。以上のことから、この祈り人の思いは、友人や仲間から裁判を起こされているとしても「（他人はどうであれ）私は神様に訴える」と！神様こそ真の“裁き主”であるのだからと。ここに彼の“信仰と覚悟”を読むことが出来るのです。

その上で最初の言葉「あなたの重荷を主にゆだねよ。主はあなたを支えてくださる。」が語られています。故に、簡単な慰めの言葉ではないことが分かります。この言葉は、厳しい状況の中であっても『私はこの問題を主に委ねる。主が必ず解決を与えて下さる』という信仰の覚悟に裏打ちされている言葉なのです。私たちもこのようでありたい！

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 11月5日(水) 20:00
II. 11月6日(木) 10:30

聖書研究：ヨブ記—①
祈祷主題：未陪餐会員を覚えて
担当者：(水) SM (木) AK
祈りに覚える人：IMさん INさん

【教勢報告】

主日礼拝 男15 女45 計60
祈祷会 I. 男4 女3 計7 II. 男1 女9 計10
日曜学校 幼稚科2 小中科2 計4

【次週主日礼拝】 11月 9日(日)

聖書：イザヤ書 5：11～14
ルカによる福音書 7：24～30
説教：「ルカ 58 - 笛を吹いても踊らない人よ」
武田 真治 牧師

讃美歌：127(1)、32、178、470、504、

【次週当番表】 83(1)

司式: AS 長老 奏楽: MA 礼拝: HS 長老

献金: MY MM 受付: SM HH

会堂準備: IY OY KS NY

森本博子

看板: II 週報: KY お花: IK

【次週集会予定】

礼拝前: ・聖書輪読会 ・求道者会
礼拝後: ・お茶の会 ・長老会 11:45～ ・婦人会
・ダビデ会

66 - 44

週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

2025年 11月 2日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33
TEL&FAX 048-771-6549